

宮森小ジェット機墜落事故を題材にした  
絵本を朗読する中部商業高校の生徒ら  
4日、那覇市のリウボウホール



## 悲劇二度と 宮森小事故題材 高校生らが朗読

読んで  
広がる  
NIE

4日に那覇市の  
リウボウホールで  
開かれた「うちな  
あ、いくさと平和  
の朗読会」に中部商業高校の  
生徒らが出演し、1959年  
の宮森小、米軍ジェット機墜落  
事故を描いた絵本「6月の空」  
を朗読した。

親子連れら約40人の聴衆に  
事故の恐怖や遺族の悲しみを  
伝えた。

出演したのは同校女子サッ  
カー同好会の1年生ら8人。顧  
問の川満美幸教諭(27)が、宮  
森小の事故を語り継ぐ表現集  
団「ハーフセンチユリー宮森」  
に所属しており、生徒らもその  
一員として出演した。

米軍普天間飛行場近くにあ  
る同校。1日にオスプレイが飛  
来したときは生徒らがベランダ  
に飛び出し、「帰れ」などと叫  
んだという。「こんな近くを飛  
んでいて、落ちたらどうなるん  
だろうと怖かった」と小坂橋沙  
衣さん(15)。朗読の練習にも  
自然と真剣みが増した。

朗読を終えた渡慶次紗可さん  
(16)は「事件を知らない子もい  
るので、これからも朗読を続け  
たい」と誓っていた。

朗読会は沖縄県産本ネットワ  
ークが開くフェアの関連イベン  
ト。この日は紙芝居作家のさど  
やんさんや朗読ユニット「こえ  
みち団」も出演した。